

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第110期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	日本ギア工業株式会社
【英訳名】	NIPPON GEAR CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 目黒 洋二
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市桐原町7番地
【電話番号】	(0466)45-2100番
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 伊藤 政夫
【最寄りの連絡場所】	神奈川県藤沢市桐原町7番地
【電話番号】	(0466)45-2125番
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 伊藤 政夫
【縦覧に供する場所】	日本ギア工業株式会社横浜支店 (神奈川県横浜市西区北幸1丁目11番11号 NOF横浜西口ビル9階) 日本ギア工業株式会社大阪支店 (大阪府吹田市江の木町26番30号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第109期 第1四半期累計期間	第110期 第1四半期累計期間	第109期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	2,723,547	2,621,750	10,511,130
経常利益(千円)	392,560	290,769	924,534
四半期(当期)純利益(千円)	121,454	164,747	263,066
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	1,388,800	1,388,800	1,388,800
発行済株式総数(千株)	14,280	14,280	14,280
純資産額(千円)	5,171,430	5,403,369	5,313,800
総資産額(千円)	10,158,296	10,732,472	10,974,959
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.55	11.60	18.52
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	5.0
自己資本比率(%)	50.9	50.3	48.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により国内企業の生産や輸出は減少し、消費の自粛、風評被害、厳しい雇用環境など、依然として先行きの不透明な状態が続いております。

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業では、バルブ・コントロールは火力発電所向けが大幅に増加いたしました。ジャッキ及びその他の増減速機は、企業の設備投資が回復傾向にあるため増加いたしました。また歯車は、建設機械用が増加いたしました。工事業業につきましては、原子力発電所向けが減少いたしました。

このような状況のもとで、当社は懸命に営業努力を重ねてまいりました結果、当第1四半期累計期間の受注高は26億7百万円（前年同期比5.1%増）、売上高は26億21百万円（前年同期比3.7%減）となりました。一方、当第1四半期会計期間末の受注残高は32億41百万円（前事業年度末比0.4%減）となりました。

損益面につきましては、原価低減、経費節減に努めた結果、営業利益は2億95百万円（前年同期比23.8%減）、経常利益は2億90百万円（前年同期比25.9%減）、四半期純利益は1億64百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。歯車及び歯車装置事業につきましては、バルブ・コントロールの受注高は、上下水道、石油向け、補修用部品が減少したものの、火力発電所、輸出、鉄鋼向けが増加したため、前年同期比11.6%増加いたしました。売上高は、火力発電所、石油、船舶向けが増加したものの、輸出向け、補修用部品が大幅に減少したため、前年同期比15.4%減少いたしました。ジャッキは、企業業績の回復により、受注高は前年同期比26.1%、売上高は前年同期比24.1%それぞれ増加いたしました。その他の増減速機の受注高は、ファンドライブ、特機が大幅に増加し前年同期比47.1%増加いたしました。売上高も補修用部品が大幅に増加し、前年同期比54.4%増加いたしました。歯車の受注高は自動車用が減少しましたが、建設機械用、鉄道・船舶用が補い、前年同期比0.3%増加いたしました。売上高は自動車用が減少しましたが、建設機械用、その他産業用が増加し、前年同期比5.8%増加いたしました。この結果、歯車及び歯車装置事業全体では受注高は前年同期比14.6%増加しましたが、売上高は前年同期比0.7%減少いたしました。

工事業業につきましては、受注高は原子力発電所、石油向けが減少したため、前年同期比11.9%減少いたしました。売上高は火力発電所向けが増加しましたが、原子力発電所、石油向けが大幅に減少し、前年同期比9.2%減少いたしました。

財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における財政状況につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ1億63百万円減少し74億82百万円となりました。これは主に売上債権が1億88百万円、たな卸資産が53百万円増加しましたが、現金及び預金が2億97百万円、繰延税金資産が95百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ78百万円減少し32億49百万円となりました。これは主に有形固定資産が68百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ1億81百万円減少し34億70百万円となりました。これは主に仕入債務が42百万円、短期借入金が5億円、預り金が1億17百万円、未払金が1億7百万円増加しましたが、未払法人税等が3億79百万円、賞与引当金が5億19百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億50百万円減少し18億58百万円となりました。これは主に長期借入金が1億50百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ89百万円増加し54億3百万円となりました。これは主に利益剰余金が93百万円増加したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は30百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	57,000,000
計	57,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,280,000	14,280,000	東京証券取引所 (市場第二部) 大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	14,280,000	14,280,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	14,280,000	-	1,388,800	-	448,348

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 74,000	-	単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,081,000	14,081	同上
単元未満株式	普通株式 125,000	-	-
発行済株式総数	14,280,000	-	-
総株主の議決権	-	14,081	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本ギア工業株式会社	神奈川県藤沢市桐原町7番地	74,000	-	74,000	0.52
計	-	74,000	-	74,000	0.52

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、大有ゼネラル監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892,268	1,594,322
受取手形及び売掛金	3,206,051	3,394,211
商品及び製品	183,992	110,447
仕掛品	714,075	653,153
原材料及び貯蔵品	1,220,060	1,407,657
その他	429,905	322,841
流動資産合計	7,646,353	7,482,633
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,258,597	1,258,597
その他(純額)	1,252,328	1,183,501
有形固定資産合計	2,510,926	2,442,099
無形固定資産		
	166,298	160,564
投資その他の資産		
投資有価証券	347,960	342,985
その他	308,620	309,390
貸倒引当金	5,200	5,200
投資その他の資産合計	651,380	647,176
固定資産合計	3,328,605	3,249,839
資産合計	10,974,959	10,732,472
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,686,751	1,729,060
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	574,500	569,500
未払法人税等	407,294	28,277
賞与引当金	599,984	80,877
役員賞与引当金	25,493	-
その他	358,160	562,981
流動負債合計	3,652,185	3,470,696
固定負債		
長期借入金	968,000	818,000
退職給付引当金	562,782	575,312
役員退職慰労引当金	15,630	15,630
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	219,624	219,787
その他	219,395	206,135
固定負債合計	2,008,973	1,858,407

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債合計	5,661,158	5,329,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,052,467	3,146,187
自己株式	23,921	24,330
株主資本合計	5,265,694	5,359,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,106	44,364
評価・換算差額等合計	48,106	44,364
純資産合計	5,313,800	5,403,369
負債純資産合計	10,974,959	10,732,472

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,723,547	2,621,750
売上原価	1,834,780	1,845,813
売上総利益	888,766	775,936
販売費及び一般管理費	500,991	480,585
営業利益	387,775	295,350
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	5,434	5,569
助成金収入	6,391	-
その他	3,523	1,041
営業外収益合計	15,350	6,613
営業外費用		
支払利息	9,873	9,571
その他	691	1,623
営業外費用合計	10,565	11,195
経常利益	392,560	290,769
特別損失		
固定資産売却損	-	738
固定資産除却損	13	-
環境対策引当金繰入額	9,008	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	172,936	-
特別損失合計	181,958	738
税引前四半期純利益	210,602	290,030
法人税等	89,147	125,282
四半期純利益	121,454	164,747

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	84,772千円	83,345千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	56,832	4.0	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	71,028	5.0	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

(持分法損益等)

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,757,756	965,791	2,723,547
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,757,756	965,791	2,723,547
セグメント利益	48,765	339,010	387,775

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,744,633	877,116	2,621,750
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,744,633	877,116	2,621,750
セグメント利益	27,253	268,097	295,350

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円55銭	11円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	121,454	164,747
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	121,454	164,747
普通株式の期中平均株式数(株)	14,207,724	14,205,083

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月9日

日本ギア工業株式会社
取締役会 御中

大有ゼネラル監査法人

代表社員 公認会計士 土屋 善敬 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 飯村 忠昭 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ギア工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第110期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本ギア工業株式会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。